

白寿彝

中國略史

北京 外文出版社

白壽彝 主編

楊釗 纂書
鐫

方齡貴 朱仲玉

執筆

中國略史

北京 外文出版社

中国略史

1983年 初版発行

出版者 外文出版社
(北京阜成門外百万莊)

発行者 中国国際書店
(北京 P.O.Box 399)

印刷所 外文印刷廠

編号: (日) 11050-154 11-J-1611D

00595

目次

第一章 序 論

一 総面積九六〇万平方キロメートル	1
二 五十余の民族 十億近い人口	8
三 一七〇万年と三六〇〇年	17

第二章 太古の遺跡

一 元謀人から北京原人まで 道具の製造と火の使用	33
二 丁村人と山頂洞人、道具の進歩、裝飾品の出現	38
三 仰韶文化に見られる母系氏族社会	43
四 龍山文化時期の父系氏族社会	50

第三章 太古の神話と伝説

一 太古の部落	61
---------	----

二 部落の長、神と神の子たち……………	64
三 夏王朝の「一家で天下を独占」……………	68

第四章 商・周奴隸制国家

一 文字で書かれた最古の歴史……………	73
二 商代奴隸主の王朝……………	80
三 商代の社会経済……………	87
四 周の興起と周奴隸制王朝の誕生……………	93
五 周の奴隸制経済の発展……………	100
六 周の盛衰……………	104

第五章 東周初期と春秋・戦国時代 奴隸制から封建制への移行

一 東周初期と春秋時代 大国の争覇……………	109
二 戦国七雄の争い……………	116
三 奴隸制から封建制への移行……………	123
四 儒墨・諸子・楚辞……………	133

第六章 秦・漢時代——封建社会の成長

一 最初の封建王朝——秦	151
二 秦末の農民大蜂起	156
三 西漢王朝の誕生とその強化	162
四 西漢の盛代	168
五 西漢の衰落 緑林・赤眉軍の大蜂起	176
六 東漢王朝の誕生と長期の動乱 黄巾軍の大蜂起	184
七 社会生産力の発展	195
八 封建関係の成長	202

第七章 三国、兩晋、南北朝、隋、唐の時代——封建社会の発展

一 三国鼎立	211
二 兩晋と十六國	218
三 南北朝	230
四 隋王朝の誕生、隋末農民の大蜂起	243

五	唐王朝の最盛期	250
六	唐中葉の動乱	264
七	唐王朝の没落、唐末の農民大蜂起	276
八	社会生産力の発展	286
九	封建関係の発展と民族雜居地域の封建化	298
第八章 五代、宋、元の時代——封建社会の発展		

一	五代十国	309
二	北宋王朝の興亡 王小波と方臘の蜂起	316
三	遼、夏、金とその北宋との関係	327
四	宋、金の南北分立 鍾相、楊么、紅襖軍の蜂起	333
五	蒙古の興起 夏、金、南宋の滅亡	344
六	元王朝の誕生 元末の農民大蜂起	352
七	社会生産力の発展と経済的中心の南移	364
八	封建関係の継続的発展と広大な辺疆地域の封建化	371

九 中外交通の発達	380
-----------	-----

第九章 明・清時代——封建社会の衰微

一 明王朝の誕生	389
二 明王朝中葉の衰微 流民、鉏夫の蜂起	401
三 明王朝の腐敗 農民蜂起の継続	408
四 満州族の興起 明末農民の大蜂起 明王朝の滅亡	421
五 大順農民政權 南明諸王 清王朝初期の統一活動	440
六 清王朝支配の強化	451
七 清王朝の衰微 各民族人民の清朝反対の蜂起	464
八 封建社会の衰微 封建勢力禁固下での資本主義の芽ばえ	473
九 西方植民勢力の東侵	488

第十章 半植民地・半封建社会 旧民主主義革命

一 アヘン戦争	501
二 太平天国革命の勃発と発展	508

三	第二次アヘン戦争	ロシアの中国領土侵略	516
四	太平天国後期の闘争		524
五	アヘン戦争以降の学術・文化		530
六	外国の経済侵略と官僚の洋務活動		536
七	早期の中国プロレタリアートと民族ブルジョアジー	西洋近代科学の伝来	540
八	侵略勢力下にある中国辺境地帯の危機		547
九	中日戦争と帝国主義による中国分割		554
十	ブルジョア改良派の維新運動		561
十一	義和団の反帝愛国運動		570
十二	ブルジョア革命運動の勃興		577
十三	中国同盟会の結成		585
十四	武昌蜂起	中華民國の樹立と清朝の滅亡	591
十五	北洋軍閥による暗黒支配		598
十六	ブルジョア革命期の思想、文化と科学技術		605
十七	中国革命の曙光		615

第一章 序 論

一 総面積九六〇万平方キロメートル

中華人民共和国は、アジアの東部、太平洋の西岸に位置している。その国境は、北は漠河^{モクガ}近くの黒竜江の河心を起点とし、南は南沙群島の曾母暗沙に至り、西はパミール高原を起点とし、東は黒竜江と烏蘇里江^{ウスリ}との合流点に至り、総面積約九六〇万平方キロ、世界で最大の面積をもつ国の一つである。陸地の境界線は二万余キロ、東は朝鮮、北はモンゴル人民共和国と境を接し、東北と西北はソ連、西と西南はアフガニスタン、パキスタン、インド、ネパール、シッキム、ブータンに、南はビルマ、ラオス、ベトナムに接している。海岸線は一万八〇〇〇余キロにたっし、海をへだてて日本、フィリピン、マレーシア、インドネシア、ブルネイなどの諸国とむかいあっている。

中国の行政区画は、北京を首都とし、北京、天津、上海を直轄市としている。北京市をとり囲

むのが河北省で、その北が内蒙古自治区、東北部には遼寧省、吉林省、黒竜江省、西部と西北部には山西省、陝西省、甘肅省、寧夏回族自治区、青海省と新疆維吾爾自治區があり、南部には河南省、湖北省、湖南省、広東省、広西壮族自治区がある。東南部には山東省、江蘇省、浙江省、安徽省、江西省、福建省、台湾省があり、西南部には四川省、貴州省、雲南省、西蔵自治区がある。省（自治区）の下には市、自治州、県（旗）、自治県（自治旗）、鎮（町）があり、直轄市の下には区、県がおかれている。

中国にはたくさん山の山脈があり、その主なものは多く西部に位置している。そのうち西から東へのびる山脈に阿爾泰山脈、天山山脈、崑崙山脈、祁連山脈、喀喇崑崙山脈、岡底斯山脈、喜馬拉雅山脈、陰山山脈、秦嶺山脈、南嶺山脈などがあり、また、北から南へのびる横断山脈、東西を平行に走る大雪山脈、怒山山脈、高黎貢山脈などの山脈がある。このほかに国境の東部には、東北から西南へのびる山脈が二列にわかれて、西側のひとつは大興安嶺山脈、太行山脈、巫山山脈、武陵山脈、大婁山脈、雪峰山脈などになっており、東側のひとつは、長白山脈、遼東丘陵、山東丘陵、閩浙丘陵になっている。これらの山脈が、全国の地形を構成する基本的な骨組を形成している。

標高ののげしい変化のために、全国の地形は西から東へ三つのステップにわけることができ

る。青海・チベット高原は、崑崙山脈の北部と祁連山脈を北のふちとし、喀喇崑崙山脈、喜馬拉雅山脈、横断山脈を西と南のふちにした世界最大の高原で、「世界の屋根」と称せられ、その平均標高は四〇〇〇メートルをこえる。喜馬拉雅山脈の珠穆朗瑪峰は中国とネパールの境界にあり、標高八八四八・一三メートル、世界一の高峰である。青海・チベット高原の東北部にある柴達木盆地はこれよりやや低いが、それでも三〇〇〇メートル近くある。これらがもつとも高いステップに属する。青海・チベット高原の北部と東部は、おおむね一〇〇〇メートルから二〇〇〇メートルの高原と盆地で、そこには雲南・貴州高原や、甘肅省中部・東部、寧夏回族自治区東南部、陝西省北部、山西省全域と河南省西部にひろがる黄土高原や、内蒙古高原、四川盆地、新疆ウイグル自治区の塔里木盆地や准噶爾盆地などがあり、これが第二ステップである。第三ステップは、大興安嶺山脈から雪峰山脈に至るラインの東部、標高一〇〇〇メートル以下の丘陵なし二〇〇メートル以下の平原で、東北平原、華北平原、長江中流・下流域の三大平原と、さらに低い五〇メートル以下の沿海平原がある。

中国の河川の多くは、西から東に流れて太平洋にそそいでいる。長江、黄河、黒龍江、珠江、松花江、遼河、淮河など中国の主な河川は、ほとんどみな西から東へ流れている。なかには雅魯藏布江、怒江のように南へ流れる河川もあり、それぞれインド、バングラデシュ、ビルマ

を経てインド洋にそそぎ、瀾滄江、元江はビルマ、ラオス、タイ、カンボジア、ベトナムを経て太平洋にそそいでいる。また額爾齊斯河^{エルタイシ}などのように北に流れて北極海にそそぐ川もある。以上はすべて外流河である。また塔里木河^{タリム}、柴達木河^{チャイナム}、疏勒河^{シュレ}など海へ流れない内陸河もある。

長江は中国でもっとも長い川で、全長六三〇〇キロあり、青海、四川、チベット、雲南、湖北、湖南、江西、安徽、江蘇、上海などの省、自治区、直轄市をつらぬき、支流は貴州、陝西、甘肅、河南などの省におよび、その流域面積は一八〇万平方キロもある。長江につぐ大きな河川は黄河で、全長五四六四キロにたっし、青海、四川、甘肅、寧夏、内蒙古、山西、陝西、河南、山東などの省、自治区をつらぬき、その流域面積は七万余平方キロにおよぶ。そのつぎが黒竜江で、中国領内を流れ、中ソの国境を形成しており、全長二九六五キロ、流域面積は東北地区の大部分を占めている。塔里木河は全長二一七九キロあるが、支流が少ないため、流域面積は一九方八〇〇〇平方キロにすぎない。西江上流の南盤江を本源とする珠江は、全長二一二九キロ、雲南、貴州、広西、広東などの省と自治区を流れ、流域面積は四二万五七〇〇平方キロあり、松花江は全長一八四〇キロ、流域面積は五四万五六〇〇平方キロある。雅魯藏布江の中国領内の流域面積と海河の流域面積は、いずれも二〇万平方キロをこえる。

中国には大小さまざまな湖が全国各地に分布しており、主として長江中流・下流平原とチベッ

ト北部高原に集中している。このうちより大きい湖は江西省の鄱陽湖で、面積は三九七六平方キロ、湖南省洞庭湖の面積は三九一五平方キロ、江蘇省西部の洪沢湖は三七八〇平方キロ、江蘇省南部の太湖は二二〇〇余平方キロある。これらの湖は、いずれも有名な淡水湖である。また塩水湖もあり、その主なものは青海省の青海湖で、面積は四四〇〇余平方キロ。新疆ウイグル自治区の羅布泊は二五〇〇余平方キロあるが、面積、形状ともに不安定である。中ソ国境地帯にある興凱湖も淡水湖で、面積四三八〇平方キロ、中国領とソ連領にわかれている。

これら天然の河川や湖のほかに、中国には人工の運河も多く、なかでもいちばん有名なのが京杭大運河で、全長一七八二キロ、北は北京市から発し、南は杭州に至り、天津市をはじめ、河北、山東、江蘇、浙江など四省をへて海河、黄河、淮河、長江、錢塘江など五つの水系と結んでいる。

中国大陆は、東部と南部が海に面しており、東部のいちばん北に渤海がある。遼東半島と山東半島がむかいあって、渤海の天然の門戸をなしており、渤海の南が黄海、長江の河口以南が東中国海、台湾海峡以南が南中国海である。渤海は中国の内海で、他の三つはすべて太平洋の一端をなしている海である。これらの海には五〇〇〇以上の島が散在し、総面積約八万平方キロ、うち半分が東中国海にある。台湾はもっとも大きな島で面積三万五七〇〇平方キロに及んでいる。こ

れにつぐのが海南島で、面積三万四〇〇〇余平方キロ、そのつぎが崇明島で面積一〇八三平方キロ。この他に、渤海の門戸にあたる廟島群島、錢塘江河口の外側の舟山群島、台湾海峡の澎湖列島などがあり、いずれも名だかい群島である。南中国海洋上の東沙群島、西沙群島、南沙群島、南沙群島は、中国の最南端にある島で、これら南中国海諸群島は、それぞれ数のことなる島、沙洲、暗礁、海面下の浅瀬からなり、総数一七〇余にのぼる。南沙群島には百近い島、暗礁、海面下の浅瀬があり、これにつぐ西沙群島には、約三〇ある。

中国の曲折した長い海岸線には、良港が少なくない。渤海湾西部に位置し、海河の下流にある天津港、長江の河口、黄浦江と呉淞江の合流点にある上海港および東江、北江、西江下流の合流点、珠江デルタにある広州黄浦港などがそれで、いずれも大河が海にそそぐところにある河口港で、国内の物資交流の集散地であるばかりでなく、中国の重要な国際貿易港でもある。遼東半島の大連港、山東半島の青島港、台湾島の基隆港、雷州半島の湛江港などは、いずれも海灣にある天然良港で、水陸交通の門戸である。

中国各地の気温と雨量は、大陸と海洋との温度差によって生じる季節風に大きく影響され、また広大な国土と複雑な地形の關係で、その差がひじょうに大きく、氣候の類型も多種多様である。夏は全国的に気温がたかく、七月の平均気温は、黒龍江省で摂氏二〇度以上、拉薩一五度、

杭州二八度である。冬になると、黒竜江省最北部の平均気温は摂氏零下三〇度にさがるが、広東、広西、福建などの省と自治区の平均気温は摂氏一〇度以上、海南島は摂氏一五〜一六度以上もある。北方がいちめんの氷にとぎされているころ、南方ではヤシの林がみどりにおおわれている。おなじ盆地でも、盆地の中心部と周辺地区では気温の差があり、おなじひとつの山脈でも、風にあたる側とあたらない側では、気温がことなる。垂直自然帯がとくにきわだっている高くけわしい山、たとえば喜馬拉雅山脈の山々の南麓のようなどころでは、標高の高低によって気温や自然のおもむきは変化がはげしく、低地には温暖、湿潤な常緑闊葉林地帯があるが、最高地点は恒年氷雪地帯と化している。

中国は国土が広く、地形が複雑なため、気候の差がはなはだしく、それぞれの地区が、さまざまな自然の特色をもっており、このために豊富、多様な資源に恵まれている。肥沃な平原地区では、小麦、水稻、トウモロコシ、アワ、コウリヤン、大豆などの農作物や棉花、麻、油脂原料、製糖原料などの工業作物が大量に生産され、広大な山間地帯では、食糧のほかに、茶、茶油、桐油、生糸、白ろう、薬草などを生産している。内蒙古、新疆、青海、チベットなどの省と自治区にはひろびろとした草原があり、牧草がおい茂り、大量の牛、羊、馬、ラクダが飼育され、優良品種が数多くある。森林は主として東北地区、西南地区、福建省と台湾省東部に集中してい

る。中国の森林は形態が複雑で、樹木の種類も多く、喬木ひとつをとっても二八〇〇余種類にのぼり、経済価値のたかい用材樹木は一〇〇〇種類近くもある。中国各地に生息している野生動物は、鳥類約一一五〇種、獸類四〇〇余種、両棲の爬虫類約四二〇余種をかぞえ、珍しい禽獸も少なくない。水の資源もひじょうにゆたかで、初步的な計算によると、全国河川の年間総流量は約二兆七〇〇億立方メートルで、水力資源の総包蔵量は五億八〇〇〇万キロワットと見積もられている。主な河川は航行の便がよく、すでに一六万キロにおよぶ航路がきりひらかれている。埋蔵量の豊富な石炭、石油、鉄などは全国いたる所にあり、銅、アルミニウム、タンゲスチン、アンチモニー、モリブデン、錫、マンガン、鉛、亜鉛、水銀などの鉱産物のほかに、オイルシェール、磷、硫黄、マグネサイト、塩、石膏などが広く分布している。建国いらい中国は、農業、牧畜業、林業、漁業と伝統的な手工業を發展させ、工業と水、陸、空の交通運輸事業にとりくみ、資源を調査、勘察し、利用してきた。近代化をめざして努力をかさねるにつれて、中国のゆたかな資源は、日ましにその役割を發揮できるようになるであらう。

二 五十余の民族 十億近い人口

中華人民共和国は統一された多民族の国家で、漢族と五十余の少数民族によって形成されてい